

土山小学校

令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

IKOKA学習デザインを基盤とした、主体的・対話的な深い学びの実現を目指し、学ぶ楽しさを実感し、確かな学力を育む教育の充実

- 「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」のツールとしての効果的なICT活用の推進を図る。
- いじめを許さず、支えあい、学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】

- 自ら課題を持ち、調べたことや分かったことを自分なりに表現することを大切にする。
- 学校、家庭、地域が一つになった教育の推進をめざす。

【現状と課題】

- 視点1 基礎的な力はほぼついていて、それを活用したり表現したりすることが苦手である。
与えられた課題には真面目に取り組めるが、主体的な学びや、さらに上をめざす挑戦意欲が弱い。
ICTの活用を積極的に行い、タブレット操作の基礎も定着してきている。
- 視点2 自尊感情・人権意識が低く、自分に自信が持てない傾向がある。
- 視点3 身近な人や地域に進んで働きかけ、自分たちの生活を豊かなものにしようとする意欲や態度が弱い。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】
※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①県が推進する「読み解く力」を元にした授業改善を行う。 ・自らの課題を進んで解決しようとする。 ・友だちの意見を参考に自分の考えを深め、文章や図などを使って表す。 ・振り返りの型を示し、振り返りの充実を図る。	①授業のめあてと振り返りを80%以上行う。		
	②ペア学習などでどの子どもも発言する機会を80%以上つくる。		
	③学校評価の「授業がわかる」項目で90%以上		

【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○互いの違いを認め合う温かい学級集団作り ・毎月の人権の日 ・人権週間 ・一人ひとり違うことの良さや、相手を思いやることの大切さを考えさせる日常的な取組。 ・心と体を大切に作る仲間づくりと温かい絆の醸成	①学校アンケートのルールが守れているの項目で80%以上		
	②生活アンケートでいじめがあるという回答が5%未満		
	③けんかやいじめ等の問題行動が月に1回未満		

【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
コミュニティスクール土山の運営 ○土山学の充実 スーパーチャレンジ ○あいさつ ○靴そろえ ○美・トイレ ○黙々掃除 ○聴く力の育成	①土山学の実施70%達成		
	②地域で学ぶ活動50%達成		
	③あいさつ100%、靴そろえ100%、聴く姿勢90%以上		

・4月の職員会議において学校長が教育目標や学校経営等について伝える機会に、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、今年度から取り組む総合的な学習の時間を窓口にした、「子どもの主体的な学びの姿」をどうとらえるのか、具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりで保護者や地域に発信する。

- ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については研究主任、視点2については人権教育主任、視点3については全職員が一丸となって、組織的に実践につなげる。
- ・授業研究会を行うごとに、子どもの主体的な学びの姿をより明らかにしていくとともに、友だちの意見を参考にしながら学びを深めていく手立てについても考えていく。
- ・定例職員会議では、取組の状況等を共有し、学期末の学校評価や、全国学力・学習調査等の調査における数値や意見等をもとに、改善策について(校内研究部、OJTグループ、教科部会等)でまとめ、10月の職員会議で共有し、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する中間評価結果を学校だよりで保護者や地域に発信する。